

（第1面）

産業廃棄物処理計画書

令和 6年 6月 20日

川口市長 殿

提出者

住 所 東京都足立区鹿浜2丁目35番12号

氏 名 幸信テクノ株式会社
代表取締役 瀧口 幸寿

（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）

電話番号 03-5856-9200

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	幸信テクノ株式会社
事業場の所在地	東京都足立区鹿浜2丁目35番12号
計画期間	令和6年4月1日から令和7年3月31日まで
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	職種別工事業 D-07
②事業の規模	元請完成工事高 1,050,1万円
③従業員数	13人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	がれき類 → 破碎（委託）→ 再生砕石として再利用（委託） 木くず → 破碎（委託）→ チップ、製紙原料として再利用（委託） ガラス陶磁器くず → 破碎（委託）→ 再生砕石、再生砂等 再利用（委託） 廃プラスチック類 → 破碎・減容（委託）→ 塩ビ管原料他として再利用（委託） // → 破碎、圧縮・減容（委託）→ RPF固型燃料他として再利用（委託） // → 最終処分場で埋立処分（委託） 混合廃棄物 → 破碎・切断・圧縮梱包（委託）→ RPFとして再利用（委託） 繊維くず → 破碎・切断・圧縮梱包（委託）→ RPFとして再利用（委託） 石綿含有産業廃棄物 → 積替え保管 → 最終処分・埋立（委託）

（日本産業規格 A列4番）



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

【前年度（令和5年度）実績】

産業廃棄物の種類	コンクリート片	石綿含有産業廃棄物	木くず	繊維くず
排 出 量	8,628.42 t	53.50 t	747.29 t	12.60 t

(これまでに実施した取組)

梱包材や養生材を過剰にせず、必要最小限としている。

分別をより細分化している。

【目標】

産業廃棄物の種類	コンクリート片	石綿含有産業廃棄物	木くず	繊維くず
排 出 量	7,000.00 t	50.00 t	700.00 t	10.00 t

(今後実施する予定の取組)

発生抑制に関する社内研修を定期的実施する。

廃棄物の分別を徹底し、再利用を推進する。

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	ガラス陶磁器等くず
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	- t	- t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	ガラス陶磁器等くず
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	- t	- t
	(今後実施する予定の取組)		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	ガラス陶磁器等くず
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	- t	- t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	- t	- t
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	ガラス陶磁器等くず
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	- t	- t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	- t	- t
	(今後実施する予定の取組)		

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

【前年度（令和5年度）実績】

産業廃棄物の種類	建設混合廃棄物	廃油	金属くず	廃石綿等
自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t

【目標】

産業廃棄物の種類	建設混合廃棄物	廃油	金属くず	廃石綿等
自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

【前年度（令和5年度）実績】

産業廃棄物の種類	建設混合廃棄物	廃油	金属くず	廃石綿等
自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t
自ら中間処理により減 量した産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t

【目標】

産業廃棄物の種類	建設混合廃棄物	廃油	金属くず	廃石綿等
自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t
自ら中間処理により減 量する産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

【前年度（令和5年度）実績】

産業廃棄物の種類	コンクリート片	石綿含有産業廃棄物	木くず	繊維くず
自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t

【目標】

産業廃棄物の種類	コンクリート片	石綿含有産業廃棄物	木くず	繊維くず
自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

【前年度（令和5年度）実績】

産業廃棄物の種類	コンクリート片	石綿含有産業廃棄物	木くず	繊維くず
全処理委託量	8,628.42 t	53.50 t	747.29 t	12.60 t
優良認定処理業者 への処理委託量	11.84 t	6.50 t	276.50 t	9.20 t
再生利用業者への 処理委託量	8,628.42 t	53.50 t	747.29 t	12.60 t
認定熱回収業者 への処理委託量	- t	- t	- t	- t
認定熱回収業者以 外の熱回収を行う業 者	- t	- t	- t	- t

(これまでに実施した取組)

委託基準に基づき、委託可能な処理業者を選定している。
委託業務に関する社内チェックを定期的の実施している。

(第5面)

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	ガラス陶磁器等くず
	全処理委託量	40.00 t	300.00 t
	優良認定処理業者への処理委託量	40.00 t	250.00 t
	再生利用業者への処理委託量	40.00 t	300.00 t
	認定熱回収業者への処理委託量	- t	- t
	認定熱回収業者以外 の熱回収を行う業者	- t	- t
	(今後実施する予定の取組) 委託した処分場棟の現地確認を定期的実施する。 出来るだけ、優良認定処理業者から選定する。		
※事務処理欄			

【目標】				
産業廃棄物の種類	建設混合廃棄物	廃油	金属くず	廃石綿等
全 処 理 委 託 量	500.00 t	0.20 t	2.00 t	2.00 t
優良認定処理業者 への処理委託量	400.00 t	0.20 t	2.00 t	2.00 t
再生利用業者への 処 理 委 託 量	500.00 t	0.20 t	2.00 t	2.00 t
認定熱回収業者 への処理委託量	- t	- t	- t	- t
認定熱回収業者以 外 の熱回収を行う業 者	- t	- t	- t	- t